

巡回展「日本の生物多様性とその保全」実施報告書

記入日:令和 3年 10月 10日

館名・団体名	国営昭和記念公園 花みどり文化センター
部署・担当者氏名	企画グループ 辻 正宏 / 三木実穂子

1. 開催概要

開催期間

令和 3年 9月 17日(金) ~ 令和 3年 10月 3日(日)
開催日数: 17日

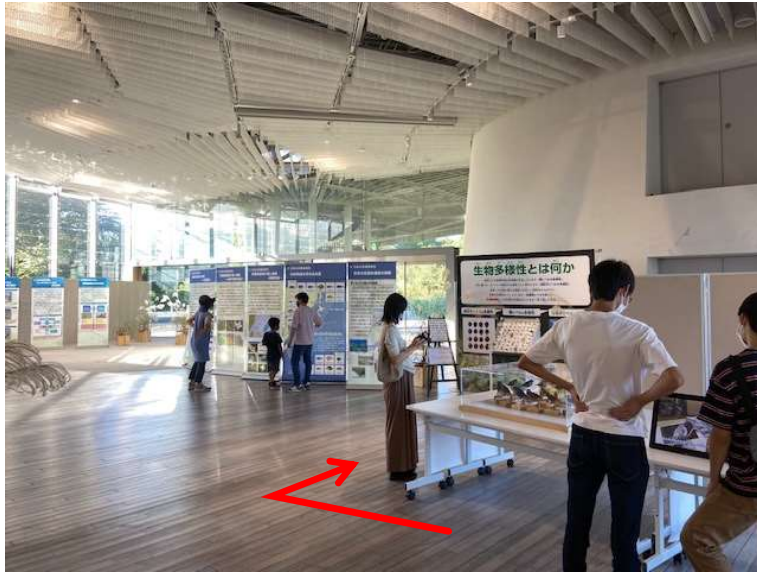
展示会場広さ (展示会場平面図があれば、別途添付してください)

約 160㎡ (ギャラリー5)

開催の様子 (写真) ※頁数が増えてもかまいません



開放的な館内の様子



ダーウィン展（ギャラリー4）から生物多様性展（ギャラリー5）へ



広いギャラリーの空間を活用した
奥行のあるパネルの配置



来場者の様子



解説内容の切り替わる場所に
ススキを効果的に活用



昭和記念公園の生物多様性の紹介

2. 開催にあたって

開催までのながれ（設営・撤去における対応スタッフ数）

令和 3年 9月 14日	展示物搬入
令和 3年 9月 15日 ~ 令和 3年 9月 16日	設営(2人)
令和 3年 9月 17日 ~ 令和 3年 10月 3日	開催
令和 3年 10月 4日 ~ 令和 3年 10月 4日	撤去(2人)
令和 3年 10月 5日	展示物搬出

内容および運営上の工夫があればご記入ください

展示会場では、公園内のギャラリーという特性を活かし、秋の園内の雰囲気を感じさせるスキ飾りを設置して、ギャラリーの屋外の風景と調和した公園らしい展示を行った。
本展示は科博の巡回展「ダーウィンを驚かせた鳥たち」と同時開催した。本展示からダーウィン展に切り替わる時に、来場者の興味が途切れずに効果的に本展示に誘導できるように展示物の配置や動線を工夫した。
自然や生物について考えるきっかけをより身近に感じていただけるよう、昭和記念公園で実施している自然環境モニタリング調査の生物多様性に関するパネルも展示した。

展示物に対する来場者の反応はどうか

生物多様性を初めて知る方や、専門家からも地球環境を考える良い機会に興味深い内容との好評をいただき、学びを活かして自身でも出来ることを探してみたいとのご意見をいただいた。多様で複雑な内容をコンパクトに分かりやすく解説していることに感動している来場者もおられた。来場者の中には、ご自分の出身地の山に触れられていたことを喜び、そこに多様な生物が息づいていることに感銘を受けている方もおられた。

3. 広報について

広報方法(チラシ等のデータがあれば、別途添付してください)

昭和記念公園公式ホームページ・SNS(Twitter)発信、園内でのチラシ配布・ポスターの掲示、FMたちかわ

*この報告書やチラシ、写真は国立科学博物館のwebにて紹介させていただく予定です。

Biodiversity

国立科学博物館巡回展

観覧無料

日本の 生物多様性と その保全

日本の生物多様性の豊かさと、
同時に失われている豊かさ、
保全活動の取り組みについて紹介

国営昭和記念公園花みどり文化センター

共催・独立行政法人国立科学博物館

2021年9月17日(金)〜10月3日(日) ギャラリー5



9:30
~17:00

